

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成26年11月20日 (2014.11.20)

【公表番号】特表2014-501901(P2014-501901A)
 【公表日】平成26年1月23日 (2014.1.23)
 【年通号数】公開・登録公報2014-004
 【出願番号】特願2013-539738(P2013-539738)
 【国際特許分類】

F 2 7 D 11/06 (2006.01)

H 0 5 B 6/18 (2006.01)

【 F I 】

F 2 7 D 11/06 Z

H 0 5 B 6/18

【誤訳訂正書】
 【提出日】平成26年9月26日 (2014.9.26)
 【誤訳訂正 1】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 8
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 8】

図 5 は金属セクターの構造的な形状に対する電磁気解析モデルを示す図であり、(a) は本発明による金属セクター、(b) は従来技術による金属セクターである。

図 5 の (a) において、本発明による金属セクターの外側に Cu 誘導コイルが配置され、金属セクターの内側にはガラスと、誘導電流によってガラスに溶融熱を提供するチタンリングがあると仮定して解析した。図 5 (b) は従来技術による金属セクターであり、図 5 (a) と同一条件であるが、一つの金属セクター内に二つの冷却流路が形成された金属セクターの構造に対する解析結果である。

【誤訳訂正 2】
 【訂正対象書類名】明細書
 【訂正対象項目名】0 0 2 9
 【訂正方法】変更
 【訂正の内容】
 【0 0 2 9】

以下の表 1 は、解析結果から得たモデル別電流分布の割合 (%) を定量的に示すもので、本発明によるセクターの構造は従来技術に比べてガラスに伝達される誘導電流の割合が高いことを確認することができる。